

環境材料学研究室

環境材料学研究室は、上田幹人教授、松島永佳准教授、熊谷剛彦助教、宮下匠人助教、博士課程5名（うち留学生1名、名社会人1名）、修士課程学生10名（うち留学生2名）、学部4年生4名、23名で、日々研究に励んでおります。

現在の研究テーマは、日本国内でのアルミニウム資源の循環を目指したアップグレードリサイクル、二酸化炭素の回収、核融合反応に用いる水素同位体分離などを行っています。また、今年度より新たに金属の分離に関する研究も開始する予定です。これらの研究はどれもSDGsの達成に向けて環境に配慮した新しい技術の確立を目指したものです。得られた研究成果は学会の参加や学術論文の投稿を通じて発表しております。令和7年度も国内外の学会に複数回参加しており、優秀講演賞を受賞することができました。また、卒業論文発表においてもあらがね賞を4年連続で受賞しており研究を高く評価していただきました。本年度も活発に活動できるよう研究に邁進してまいります。

研究室は個性豊かなメンバーからなっており、上下の壁がなくフレンドリーな雰囲気となっています。新入生歓迎会をはじめとした研究室内でのイベントを通じてメンバー同士の親睦を深めています。研究室のイベントや研究に関する情報につきましては、研究室のホームページ(<https://lmse.eng.hokudai.ac.jp/>)に詳しく掲載されていますので是非ご覧ください。卒業生の皆様、札幌へのお出張や旅行の際には研究室にお立ち寄りください。研究室のメンバー全員で皆様の訪問をお待ちしています。



令和7年度 研究室一同